

ozzio cloud（Android 用）

ユーザーガイド



Last update 2023.10.28

変更履歴

変更日	変更箇所	変更内容
2013/9/30	新規作成	
2013/11/11	ozziocloud(Android 用)をアンインストールする	新規追加
2013/11/11	ご利用上の注意点	注意点を追記
2014/03/11	付録 設定情報インポート・リストア項目 (Android)	新規追加
2014/03/24	ご利用上の注意点	注意点を追記
2014/03/27	4.10 設定情報をバックアップする	バックアップできる件数に関して追記
2014/4/16	付録 設定情報インポート・リストア項目 (Android)	Wi-Fi に関することを追記
2015/5/29	3. ozziocloud(Android 用)にログインする	アップデートのお知らせ機能に関して追記
2015/8/5	画像差し替え	
2016/7/22	1.2 動作環境	Android6.0 対応に伴い動作環境を変更
	設定情報のバックアップ・インポート・リストア 関連全般	Android6.0 以降ではブラウザの設定情報のバックアップ・インポート・リストア機能は非対応であることに関連する記載を追記
	3.2 Android6.0 以降の初回起動時について の説明を追加	Android6.0 以降ではアプリの権限使用許可が必要になったため説明を追加
2023/10/28	2.2. ozziocloud(Android 用)をインストールする	インストール方法を変更
	3.1. 初回起動時のログイン方法について	GooglePlay によるアップデート通知に関する記述を削除

1.	はじめに	4
1.1.	ozziocloud(Android 用)について	4
1.2.	動作環境	4
1.3.	本マニュアルの見かた.....	4
1.4.	ご利用上の注意点	5
2.	ozziocloud(Android 用)をインストールする	5
3.	ozziocloud(Android 用)にログインする	6
3.1.	初回起動時のログイン方法について	6
3.2.	Android6.0 以降の初回起動時について	9
4.	ozziocloud(Android 用)を利用する.....	11
4.1.	Android 用から利用できる機能を紹介	11
4.2.	ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード.....	12
4.3.	ファイル・フォルダを削除する	19
4.4.	ファイル・フォルダを移動する	21
4.5.	ファイル・フォルダの名前を変更する	23
4.6.	カメラシンクの設定	25
4.7.	カメラシンクを利用する	27
4.8.	ごみ箱を設定する	28
4.9.	ozziocloud からのお知らせを見る	30
4.10.	設定情報をバックアップする.....	31
4.11.	設定情報をリストアする	33
4.12.	設定情報の閲覧を行う.....	35
4.13.	設定情報をインポートする	36
4.14.	アカウント情報の確認.....	38
4.15.	パスワードを変更する.....	39
5.	ozziocloud(Android 用)をアンインストールする	41
6.	付録 設定情報インポート・リストア項目 (Android)	43

1. はじめに

1.1. ozziocloud(Android 用)について

ozziocloud(Android 用)(以下、本ツール)とは、株式会社ピーシーデポコーポレーションの提供するドキュメント・写真・音楽・ムービー等のデータを自動でバックアップし、いつでもどこでも様々なデバイスからアクセスできるクラウドストレージサービスの Android 用クライアントです。

本ツールは、「Android」端末よりクラウドストレージサービスにアクセスするためのツールです。


1.2. 動作環境

OS	Android 4.2 以降、 Android 6.0 まで
----	-----------------------------------

1.3. 本マニュアルの見かた

ボタン名、リンク名、タブ名などは[]で表記します。画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。

1.4. ご利用上の注意点

- 閲覧後の動作は閲覧先アプリに依存するため、サイズや書式によって閲覧可能かどうか異なる場合があります。
- フルスクリーン切り替えについてはメニューキーのある Android2.3 でのみ対応となります。
- 動画・音楽の再生コントロールは Android2.3 では非表示となります。
- Android4.0 以降に置いて、プレビュー時に下に表示している「削除」「ダウンロード」のメニューが表示されません。1 つ戻ったファイル一覧画面の各ファイルにあるクイックアクション（ ボタン）で「削除」「ダウンロード」を行うことができます。
- ゴミ箱内にあるファイルはサムネイル表示されません。
- ログイン中に、本ツールまたは OS を強制終了させると 30 分間ログインできない状態になります。
- 設定情報のインポート・リストアを行う場合、データによってバックアップされたデータは追加される形で反映されます。同じ名前があっても別物として追加します。

2. ozziocloud(Android 用)をインストールする

ozziocloud (Android 用) は、apk ファイルのダウンロードをすることによりインストールすることが出来ます。
「ozziocloud」スタートアップガイドページ (<https://www.ozzio.jp/ozziocloud/>) よりダウンロードをし、インストールしてください

3. ozziocloud(Android 用)にログインする

ログイン方法を説明します。

3.1. 初回起動時のログイン方法について

1

ホーム画面より、「**ozzio cloud**」をタップします。

※Android 6.0 以降では初回起動時に
権限使用の許可画面が表示されます。

その場合は下記「3.2 Android6.0 以降の初回起動
時について」に示す方法で許可設定をして下さい。

2

利用許諾が表示されます。内容を確認し、「**同意
する**」をタップします。

ozzio cloud利用規約

ozzio cloud サービス利用規約

第1条（規約の適用）
株式会社ビーシーデポコーポレーション（以下「当社」といいます）は、このozzio cloudサービス利用規約（以下、「本規約」といいます）を定め、これによりオンラインストレージサービス（以下、「本サービス」といいます）を提供します。

第2条（規約の変更）
当社は、本サービスを利用する会員の承諾を得ることなく本規約を変更できるものとします。この場合、提供条件等は変更後の規約によります。

第3条（通知）
当社がその他の方法で行う案内及び注意事項等は、本規約の一部を構成するものとし、本規約と同等の効力を持つものとします。また、会員はこれに従うものとします。

第4条（用語の定義）
本規約において、次の用語はそれぞれ次の意味を有するものとします。

同意しない 同意する

3

ログイン画面が表示されます。

メールアドレス、パスワードを入力し、「**ログイン**」をタップします。

※初めてご利用の場合は、この画面の後に、ozziocloud メニュー画面が表示され、機能がご利用いただけます。既に登録済みのデバイスがある場合は、手順4以降をご参照ください。なお、同一デバイスで2回目以降のログイン時には手順4以降の画面は表示されません。

ozzio cloud ログイン

メールアドレス

パスワード

ログイン状態を保持する

ログイン

パスワードを忘れた場合はこちら

本アプリを利用するには店頭での個別サービスのお申込みが必要です。
ご不明な点はサポートデスクまでお問い合わせください。

4

デバイス選択画面が表示されます。

登録済みのデバイスを使用する場合は、該当のデバイス名(A)をタップします。

新規にデバイスを登録する場合は、「**新規に登録する**」(B)をタップします。

(B)

新規に登録する

(A)

SO-03D

5

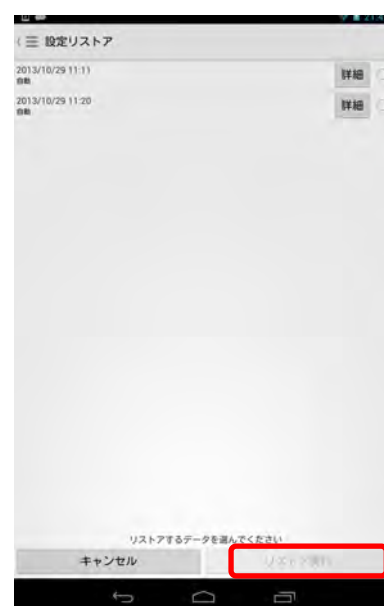
デバイス選択画面が表示されます。

登録済みのデバイス情報を使用する場合は、使用したいデバイス名をタップします。



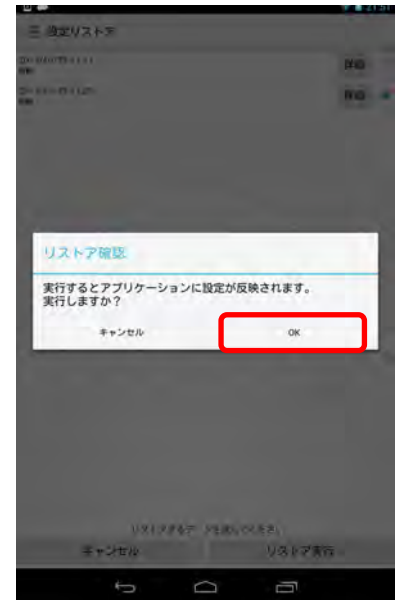
6

リストアップしたいデータにチェックを入れ、「**リストアップ実行**」をタップします。



7

「リストア」をタップします。
リストアが実行されます。



3.2. Android6.0 以降の初回起動時について

Android 6.0 以降ではアプリケーションが使用する権限についてユーザーが許可をする必要があります。
その為、初回起動時には下記のように権限許可確認画面が表示されますので、ozziocloud をご利用の際は全て許可を選択して下さい。

1

「SD カード」へのアクセス権限について確認画面が表示された場合には「許可」を選択して下さい。



2

「発信」へのアクセス権限について確認画面が表示された場合には「許可」を選択して下さい。



「連絡先」へのアクセス権限について確認画面が表示された場合には「許可」を選択してください。

※「許可しない」を選択してしまった場合には下記の手順にて後から許可設定を行って下さい。

1. 「設定」アプリ起動する
2. 「アプリ」選択する
3. アプリ一覧で「ozzio cloud」を選択する
4. アプリ情報画面で「権限」を選択する

5. アプリの権限を全て「許可」する



4. ozziocloud(Android 用)を利用する

インストールした本ツールの使い方を解説します。

4.1. Android 用から利用できる機能を紹介

ファイルのアップロードとダウンロード	ozziocloud にファイルをアップロード/ダウンロードします。
ファイル・フォルダの削除・移動・名前変更	クラウドストレージ上のファイル及びフォルダに対して、削除・移動・名前の変更を行います。
カメラリンク	端末上で撮影された写真をクラウドストレージ上に自動アップロードします。
設定情報バックアップ	連絡帳やブラウザの設定などのデータをクラウドストレージにバックアップします。 バックアップする項目は、下記になります。 ① 連絡帳データ ② ブラウザ情報（お気に入り）※1 ③ ネットワーク情報 ④ アプリケーション一覧
設定情報リストア	バックアップした設定情報のリストアを行います。※1
設定情報閲覧	設定情報の閲覧を行います。
設定情報インポート	設定情報のインポートを行います。インポートする項目は下記になります。 ① 連絡帳データ ② ブラウザ情報（お気に入り）※1 ③ ネットワーク情報
ごみ箱の利用	不要なファイルやフォルダをごみ箱に入れることができます。元あった場所に戻すことも出来ます。
お知らせ	ozziocloud に関するお知らせ機能になります。

※1 : Android6.0 以降ではブラウザのバックアップ・リストア・インポート機能は非対応のため表示されません。

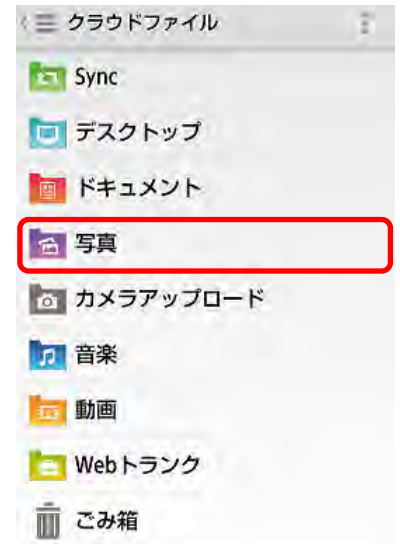
4.2. ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード

Android 端末上にあるファイルのアップロード方法と、クラウドストレージ上にあるファイルを Android 端末上にダウンロードする方法は、以下の通りです。

4.2.1. Android 端末上のファイルをアップロードする(写真アルバムから取り込み)

1

本ツールにて、共有したいファイルまたはフォルダを選択します。



2

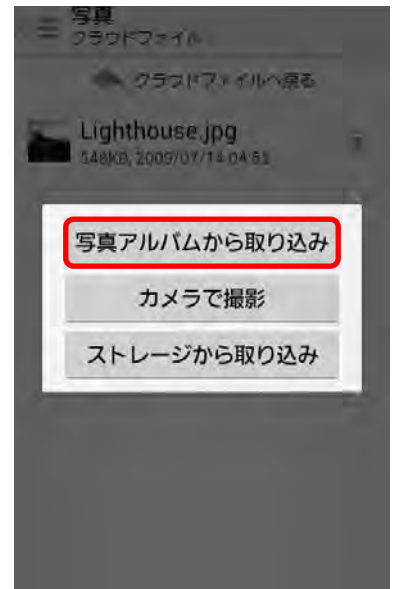
端末のメニューボタンをタップし、メニュー画面を表示します。

「ここにアップロード」をタップします。



3

「写真アルバムから取り込み」をタップします。
Gallery からアップロードしたい写真を選択すると、アップロードされます。



4.2.2. Android 端末上のファイルをアップロードする(カメラで撮影した写真を取込み)

4

本ツールにて、共有したいファイルまたはフォルダを選択します。



5

端末のメニューボタンをタップし、メニュー画面を表示します。

「ここにアップロード」をタップします。



6

「カメラで撮影」をタップします。

カメラが起動するので、写真を撮影し、「保存」をタップします。

撮影した写真がアップロードされます。



4.2.3. Android 端末上のファイルをアップロードする(ストレージから取り込み)

1

本ツールにて、共有したいファイルまたはフォルダを選択します。



2

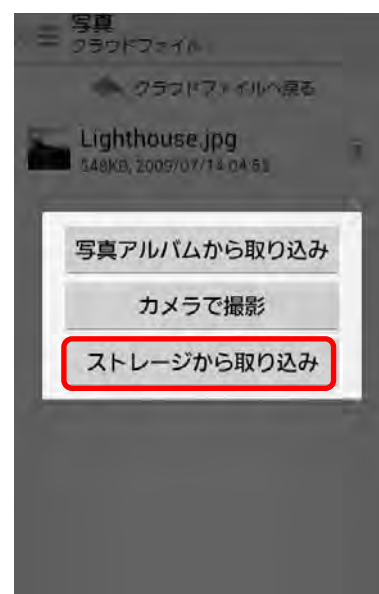
端末のメニューボタンをタップし、メニュー画面を表示します。

「ここにアップロード」をタップします。



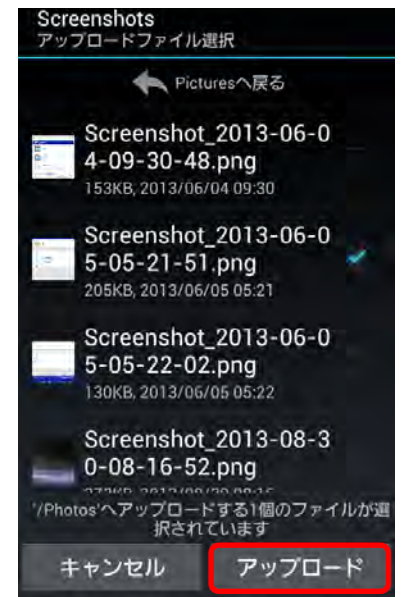
3

「ストレージから取り込み」をタップします。



4

アップロードしたいファイルをチェックして、
「アップロード」ボタンをタップします。
指定したファイルがアップロードされます。



4.2.4. クラウドストレージ上のファイルをダウンロードする

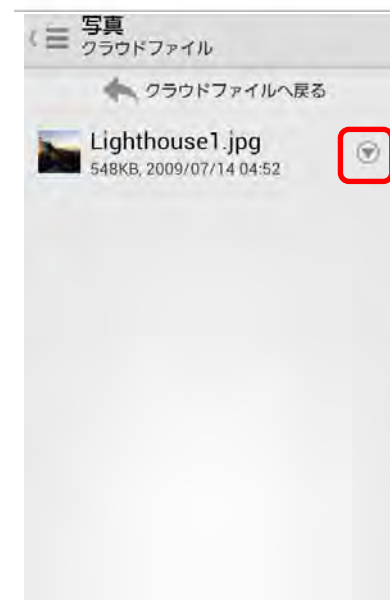
1

本ツールにて、共有したいファイルまたはフォルダを選択します。



2

ファイル名の右のアイコンをタップします。



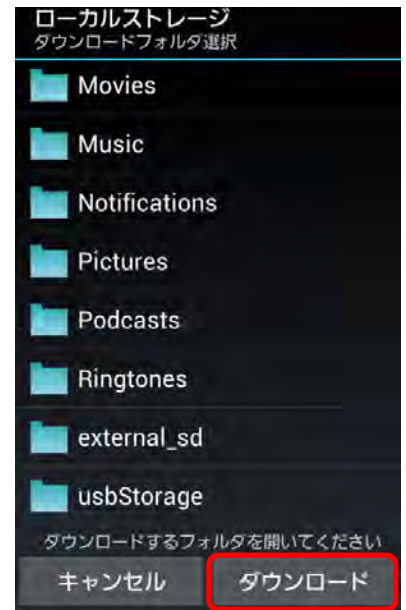
3

表示されたバーから、「ダウンロード」をタップします。



4

Android 端末上の保存先を選択し、「ダウンロード」をタップします。



4.3. ファイル・フォルダを削除する

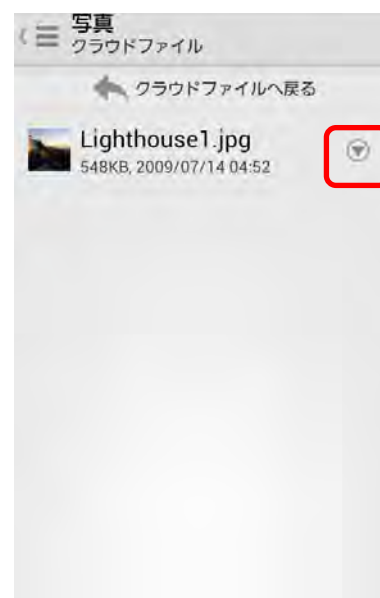
1

本ツールにて、共有したいファイルまたはフォルダを選択します。



2

ファイル名の右のアイコンをタップします。



3

表示されたバーの「削除」をタップします。



表示された「削除確認ダイアログ」にて、「OK」をタップします。
選択したファイルが削除されます。



4.4. ファイル・フォルダを移動する

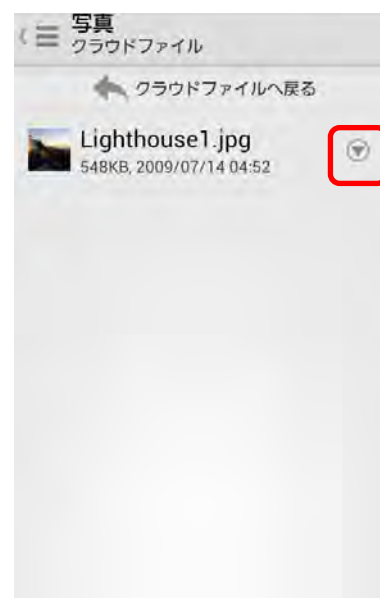
1

本ツールにて、共有したいファイルまたはフォルダを選択します。



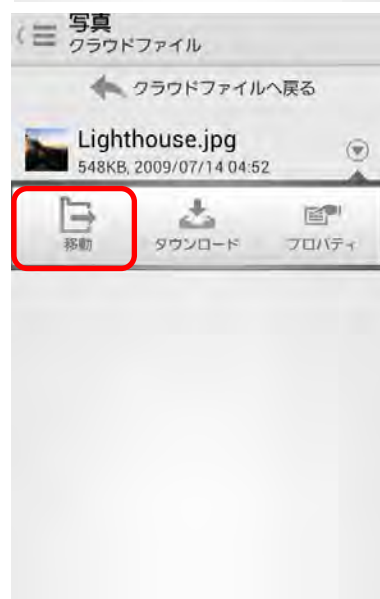
2

ファイル名の右のアイコンをタップします。



3

表示されたバーの「移動」をタップします。



4

クラウドファイル一覧から、移動先フォルダを選択し、「移動」をタップします。

再読み込みすることで、選択したファイルが移動元から移動先に移動します。



4.5. ファイル・フォルダの名前を変更する

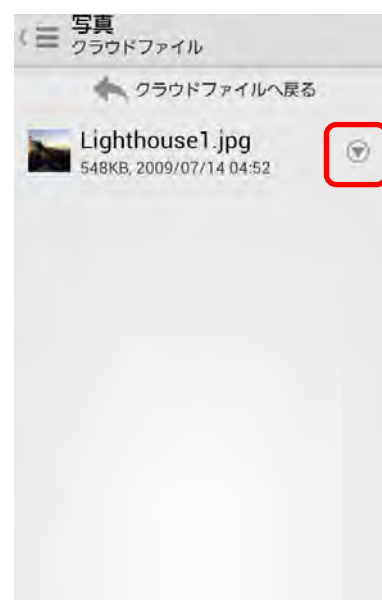
1

本ツールにて、共有したいファイルまたはフォルダを選択します。



2

ファイル名の右のアイコンをタップします。



3

表示されたバーの「名前変更」をタップします。



4

「**ファイル名の変更**」ダイアログにて、名前の変更を行います。

※「ドットマーク」以降を変更するとファイルが壊れる可能性があります。変更する場合は、「ドットマーク」より前を変更してください。

「**OK**」をタップします。

再読み込みをすることで、ファイル名が変更されます。



4.6. カメラシンの設定

モバイル端末で撮影された写真を、クラウドストレージ上に自動アップロードするための設定を行います。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。



2

「カメラシンク」をタップします。



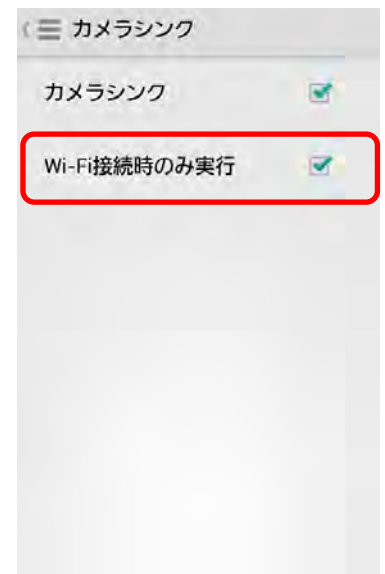
3

「カメラシンク」をチェックします。



4

「カメラシンク」を WiFi 接続時のみ実行したい場合は、「**Wi-Fi 接続時のみ実行**」にチェックします。



4.7. カメラリンクを利用する

Android 端末で撮影された写真を、クラウドストレージ上に自動アップロードします。

1

モバイル端末にて、撮影を行います。
撮影された写真が、「カメラアップロード」に自動アップロードされます。



4.8. ごみ箱を設定する

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。



2

「アカウント」をタップします。



3

「ごみ箱設定」をタップします。



4

「ozziocloud ごみ箱設定」にて、「**最長保存期間（日）**」を設定し、「**決定**」をタップします。

※設定できる最大期間は、5 日です。



5

「はい」をタップします。



6

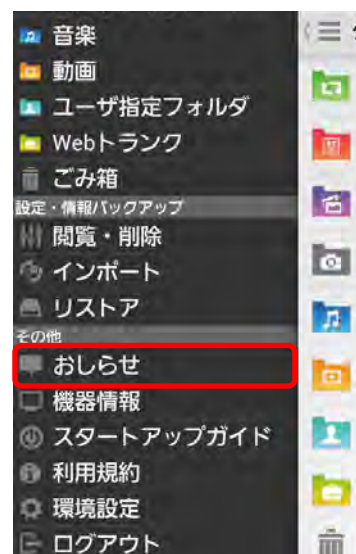
「**ごみ箱の最長保持期間が正常に設定されました。**」が表示されれば、設定完了です。



4.9. ozziocloud からのお知らせを見る

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「お知らせ」をタップします。



2

表示された通知履歴をタップすると、お知らせが表示されます。



4.10. 設定情報をバックアップする

Android 端末のネットワーク設定やセキュリティ設定、連絡帳データのバックアップ設定を行います。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。

※バックアップできる件数は、下記の通りとなっています。

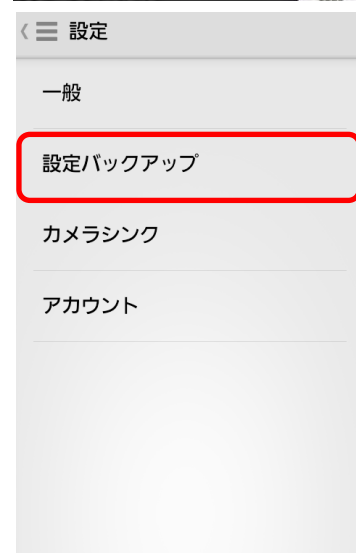
手動バックアップ・・・1 件

自動バックアップ・・・8 件



2

「設定バックアップ」をタップします。



3

「バックアップ対象」からしたい項目をチェックし、「今すぐ実行」をタップします。

※デフォルトでは、すべてチェック済

※Android6.0 以降では「ブラウザ」の項目が表示されません。

デフォルトに戻したい場合は、「デフォルトに戻す」をタップします。



4

バックアップが完了しました。

「OK」をタップします。

※Android6.0 以降では「ブラウザ」の項目が表示されません。

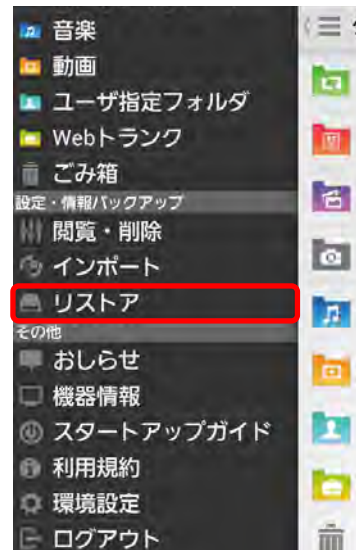


4.11. 設定情報をリストアする

バックアップした設定情報をリストア(復元)します。リストアできる設定情報は、「設定情報インポート・リストア項目 (Android)」の 43 ページを参照ください。

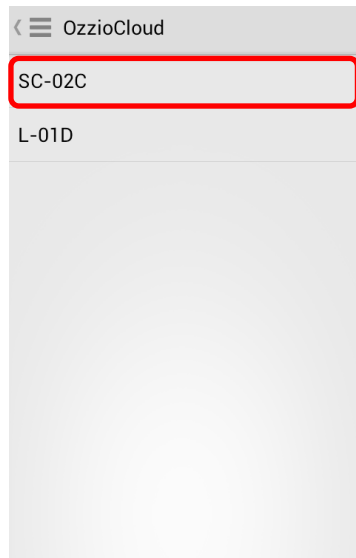
1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「設定・情報バックアップ」の「リストア」をタップします。



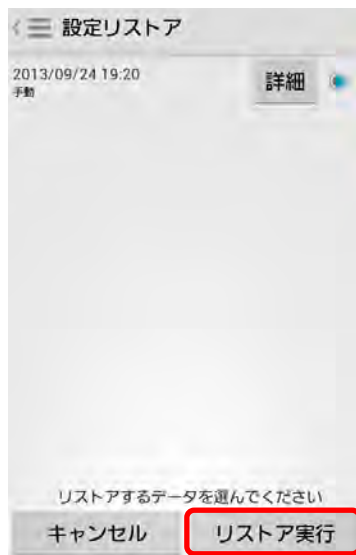
2

リストア対象の機種名をタップします。



3

リストアするデータを選択し、「リストア実行」をタップします。
※「詳細」をタップすると、データの詳細が確認できます。



4

リストア対象を選択し、「OK」をタップします。
※Android6.0以降では「ブラウザ」の項目が表示されません。



5

「OK」をタップします。



6

リストアが完了しました。「OK」をタップします。
※Android6.0以降では「ブラウザお気に入り」の項目が表示されません。



4.12. 設定情報の閲覧を行う

設定情報の閲覧を行います。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「設定・情報バックアップ」の「閲覧・
削除」をタップします。

2

各項目をタップすると、設定情報を確認できます。

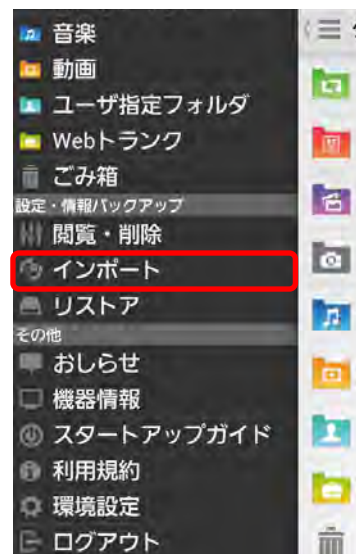


4.13. 設定情報をインポートする

設定情報のインポートを行います。インポートできる設定情報は、「設定情報インポート・リストア項目 (Windows)」の 43 ページを参照ください。

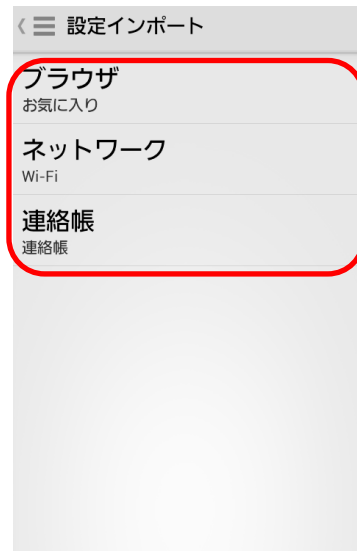
1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「設定・情報バックアップ」の「インポート」をタップします。



2

インポートしたい設定をタップします。
※Android6.0 以降では「ブラウザ」の項目が表示されません。



3

インポートする機種を選択し、「インポート実行」をタップします。
※「詳細」をタップすると、設定の詳細情報が確認できます。



4

「OK」をタップします。
インポートが実行されます。



4.14. アカウント情報の確認

お客様のアカウント名やクラウドプラン、ストレージ使用量を確認します。

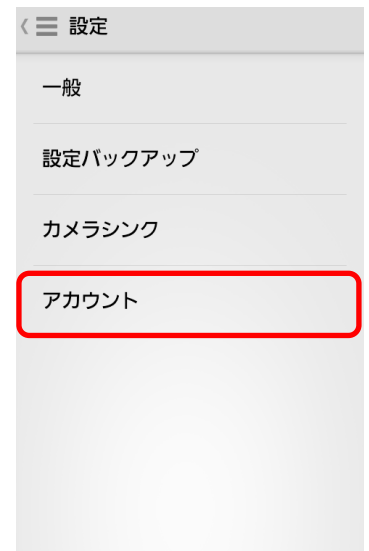
1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。



2

「アカウント」をタップします。



3

「アカウント情報」が表示されます。
確認できるのは、下記の項目です。

- ① アカウント名
- ② 端末名
- ③ クラウドプラン
- ④ ストレージプラン
- ⑤ ストレージ使用量/全容量



4.15. パスワードを変更する

お客様のパスワードを変更します。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。



2

「アカウント」をタップします。



3

「パスワード変更」をタップします。



4

「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、
「新しいパスワード確認」を入力し、「決定」を
タップします。

5

「パスワードを変更しますか？」ダイアログの
「はい」をタップします。

6

パスワードが変更されます。

5. ozziocloud(Android 用)をアンインストールする

ozziocloud (Android 用) をアンインストールする際は、下記の手順に従ってください。

1

Android 端末のメニューボタンをタップし、設定画面のアプリ管理画面より「**ozzio cloud**」をタップします。



2

「アンインストール」をタップします。



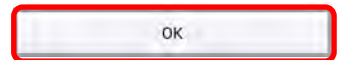
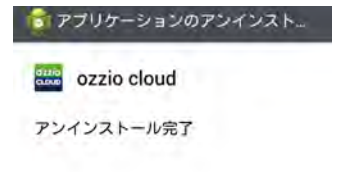
3

「OK」をタップします。



4

アンインストールが完了しました。「OK」をタップします。



6. 付録 設定情報インポート・リストア項目（Android）

設定情報のインポート・リストア一覧項目です。

○	対応
△	未対応
-	対応不可

項目	小項目	インポート・エクスポート
ブラウザお気に入り	フォルダ	○※2、※4
	タイトル	○※2、※4
	URL	○※2、※4
ブラウザ履歴	訪問日時	※1、※4
	タイトル	※1、※4
	URL	※1、※4
WiFi（※3）	SSID	○
	インターフェース名	○
	暗号化方式	○
	パスワード	-
	パスワード表示	-
メールアカウント	アカウント名	-
	メールアドレス	-
	POP サーバーアドレス	-
	POP ポート番号	-
	SMTP サーバーアドレス	-
	SMTP ポート番号	-
	パスワード	-
	パスワード表示	-
連絡帳	名前	○※2
	読み	○※2
	電話番号	○※2
	メールアドレス	○※2
ドライバ	モジュール名	-
	表示名	-
	説明	-

※1・・・閲覧のみ可

※2・・・インポート・リストアを行う場合、バックアップされたデータは追加される形で反映されます。同じ名

前があっても別物として追加します。

※ 3・・・対応しているセキュリティ方式は、「暗号化なし」「WEP」「WPA Personal」「WPA2 Personal」になります。

※ 4・・・Android6.0以降はブラウザの設定情報インポート・リストア機能は非対応となります。

【OpenSSL】

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェア及び OpenSSL プロジェクト (<http://www.openssl.org/>) によって開発されたソフトウェア (OpenSSL Toolkit で使用)、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれます。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

OpenSSL License

/*=====

* Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

*

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer in

* the documentation and/or other materials provided with the

* distribution.

*

* 3. All advertising materials mentioning features or use of this

* software must display the following acknowledgment:

* "This product includes software developed by the OpenSSL Project

* for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

*

* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to

* endorse or promote products derived from this software without

* prior written permission. For written permission, please contact

* openssl-core@openssl.org.

*

* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"

* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written

* permission of the OpenSSL Project.

*

* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following

* acknowledgment:

* "This product includes software developed by the OpenSSL Project

```

*   for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*

```

```

=====
=====

```

```

*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).  This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

```

Original SSLeay License

```

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to.  The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.  The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution

```

- * as the author of the parts of the library used.
- * This can be in the form of a textual message at program startup or
- * in documentation (online or textual) provided with the package.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publically available version or
- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
- * copied and put under another distribution licence
- * [including the GNU Public Licence.]
- */